

なべかけ

鍋掛公民館 家庭教育支援事業 第25号



【鍋掛公民館】

0287-60-1164

令和5年1月発行



令和5年（2023年）は卯年ですね。もともと十二支は、植物が循環する様子を表しています。十二支の4番目の『卯』は、芽を出した植物が成長していき、茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年といわれています。

❀春はすぐそばに…❀



1月20日は、二十四節気の後（24番目）「冬の最後を締めくくる約半月」大寒でしたね。大寒が終わると、春の始まり「立春」を迎えます。冬の寒さは過ぎ去り、春への準備が進む季節です。旧暦では、立春が一年の始まりだったので、大寒の最終日（2月3日）は大みそかの日でした。今も残る、節分の豆まきは、新年を迎えるための年越し行事なのです。日本ならではの伝統行事を子どもたちに伝え続け、大切にしていきたいですね。



節分



◎季節を分ける節目。「立春・立夏・立秋・立冬」の前日のこと。立春の前日のみになったのは、江戸時代以降。

《豆まき》

季節の変わり目には邪気(鬼)が生じるといわれ、邪気を追い払い、無病息災を祈るために行う。

《恵方巻》

七福神にちなんで7つの具を入れて巻くことで、「福を巻き込む」という願いが込められている。目を閉じ、願い事を思い浮かべながら無言で食べるのが一般的。切らずに食べるのは、「縁を切らない」という意味がある。

《柊翹》

ヒイラギの小枝に焼いたイワシの頭を刺して、門口に飾る魔除けのこと。



2023年は
南南東!



めっちゃ! ~節分豆~ 簡単アレンジレシピ

材料 ・節分豆の残り ・砂糖（豆量の2/1）
・水（豆50gに対して大さじ1程度） ・抹茶、ココアパウダー等（適量）



ホワイトパウダーときな粉
で作ってみました♪



1. 耐熱容器に砂糖、水を入れてレンジ500w30~60秒（砂糖を溶かす）
2. 豆を①に入れて砂糖を絡ませる
3. 冷めないうちにパウダーを絡めて完成。

【参照:COOKPAD】

低学年のお子さんでも簡単にできますので、ぜひ親子で作ってみてください😊✧



自分自身で選べる世界を



私たち大人は、「女の子だから…」「男の子らしく…」とつい言ってしまいがちですが、「らしさ」とは何でしょうか？無意識に使っているその言葉は、ときには子どもたちを苦しめている場合があります。就学時前のころから性別の違和感を持つ子も多く、同性集団でうまく関係をつくれないうちがでてきます。もっと“女/男らしく”しなければいけない、自分から笑いかけなければいけない…と必死に自分の気持ちをごまかそうとします。それが不登校や自傷行為等につながることもあるのです。子どもたちがカミングアウトしやすい環境をつくり、否定せずに受け入れてあげることが大切です。子どもたちが自分で自分を愛することができるよう、様々な道（選択肢）があることを子どもたちに伝えていきましょう。カミングアウトという言葉がなくなり、当たり前のこととして話ができる日本が来るいいですね♪

栃木県那須塩原市鍋掛531
Tel 0287-60-1164
Fax 0287-60-1165
Mail : ph-nabekake@city.nasushiobara.lg.jp

子育ては、正解も間違いもありません。親も子どもと共に成長していくものです。何かありましたら一人で悩まず、いつでも気軽に公民館にいらしてください。「地域みんなで子育て」を目指します。✧